

落ち着いた雰囲気

特に、幼小中共に新入生は新たな学年にも慣れた様子で落ち着いて授業に臨んでいます。また、四月の後半に浦添から小学二年生の男子一名が転入生しました。そのお陰で小学一、二年生が単式学級になりました。更に新職員（前川風先生）が五月から一名増になり、二年生の担任になりました。

ニューフェイス

早いもので、新学期開始から二月目に入りました。四月は全体的に多くの子ども達の登校時間が早くなっていました。どの子どもも目を輝かせやる気に満ちている様子でした。そんな中、コロナ感染が校内でも広がり、一時学校閉鎖も余儀なくされ心配しました。しかし、五月の連休明けには殆どの子ども達が元気に登校することができ安心しました。現在、児童生徒は落ち着き穏やかに過ごしています。

学校生活、はや順応

剛健進取

りました。よろしくお願ひします。詳細は左表を参照して下さい。



5月号
令和4年
5月26日(木)
文責：比嘉 克章

主に幼・小学校担当		主に中学校担当	
職名	氏名	職名	氏名
幼稚園教諭	金城 留美子	中教務 数学	中村 正明
幼稚園支援員	稲嶺 真子	男子バレー顧問	小浜 秀雄
小学教務	喜屋武 尚	社会	仲宗根 奈央子
理科専科	宮里 みゆき	中2年担任	山城 智加
小1年担任	前川 風	英語	中3年担任
小2年担任	玉城 千春	技	中1年担任
小3・4年担任	上間 和歌子	甲：少人数1	担任
小5・6年担任	田邊 朝勇	甲：少人数2	担任
小：少人数1	安仁 屋宗平	担任	担任
小：少人数2	大城 渚	担任	担任
フロンティア	大城 渚子	担任	担任
ティチャー英語	前田 給子	担任	担任
学力向上推進	大城 りか	担任	担任
学習支援員	金城 葵	担任	担任
養護教諭	嘉数 淳也	担任	担任
教頭副園長		担任	担任

令和四年度教職員紹介



中体連夏季大会の前哨戦でもある今大会は、男女共に日頃の練習の成果を出すべく精一杯がんばった。特に女子は、「初戦突破」をめざし伊是名中学校と対戦した。この試合ではこれまで以上にラリーが続き、二セット共に一進一退の接戦を演じた。途中リードする場面もありました。次の大会は期待できそうです。一方、男子は「優勝」を目標に今大会に挑みました。初戦の屋部中戦はセットカウント「二対ゼロ」、一桁の点数で相手を押さえ圧倒しました。名護中戦では、二セット目で調子を上げ後半までリードしていましたが逆転されました。結果は次の通りです。男女共に夏季中体連大会では悔いの残らないよう精一杯がんばって欲しい。

新報北部バレー大会

男子三位 女子奮戦



試合結果
男子
1回戦 屋部中
25:8、25:6
準決勝 名護中
12:25、20:25
女子
1回戦 伊是名中
22:25、18:25

新報北部バレー男子生 徒感想 (抜粹)

主将 中三 比嘉幹太 今までと違

つて、みんなサーブを安定して入れることができた。でも、強いスパイクや足を動かして取らないといけないのができていなかった。名護に負けたのはサーブカットやスパイクカットがみんな下手なのが原因だと思う。エースとしてスパイクをちゃんと打てるようにしたい。今大会ほくは課題だったサーブが入るようになった。夏季総体では、名護に勝って優勝するために全員が練習から真剣に取り組んでいきたいです。

中三 翁長風 感じたことは前の大会より成長できたことです。レシーブやオーバーなどのドリブルやミスが減ったことです。(名護中戦は)まだ(点)が取れたと思う。なぜかというと、はじめ一二点しか取れなかったのが二〇点(二セット目)まで取れたからです。大会を終えて成長できたことは緊張がなくなりました。夏季総体に向け、変化を加えたサーブを打ちたい。中三 名超逞音 今大会三位でありいい結果ではなかった。理由はみんな、サーブカットやスパイクカットがあまり良くなく

ぼくはサーブが良くなかった。夏季総体では、サーブカットやサーブができるよう練習を頑張りたい。

中三 安田愛永 伊豆味はカットが弱い。サーブはたくさん練習したのでみんな結構入りました。チャンスボールをつなげる、トス、スパイクをしっかりして攻撃につなげることが大切だと考える。名護や伊平屋に勝つための課題を見つけることができた。スパイク決められるエースになれるようにしたい。

中二 末吉登夢 伊豆味は名護とかと比べると、声やサーブの精度、スパイクレシーブが悪く自爆が多かった。サブカットでボールの速度に追いつかず何本もカットミスしてしまった。まず部員みんな練習から声をだして仲を深め、試合でも恥ずかしがらずに声を出す。またスパイクレシーブは体の使い方を練習して一〇〇%取るようにしたい。サーブカットの練習で力をつけたい。またセッターのハンドリングをよくしたい。部員みんな団結して中体連で力を発揮したい。

中二 森下瑛太 レシーブ、サーブがまだまだできてなくてブロックも二回ミスしてしまった。全体的にまだなのでこれから頑張りたい。

中二 具志堅光輝 大会で感じたことは、サーブを強く打ってミスするより、弱いサーブで必ず入れることが大切だと分かった。レシーブが上手になりたい。

中一 福原鉄生 頑張って勝つ気で試合をしていて、小学生のバレーの試合より盛り上がっていた。必死で練習したからこの結果が出たと思う。これからもレギュラーのためにサポートを一生懸命やろうと思えました。

中一 松田空輝 全員、スパイクやサーブ声かけが上手だった。これから僕もレギュラーとして出るため、サーブやトス、レシーブを毎日たくさん練習して上手になりたい。

中一 豊里希礼 大会はマネージャーとして出て、最初は歩いて荷物を運ぶんだけど、慣れていくうちに駆け足で荷物を持っていくことができた。中三が引退したら、レギュラーなので練習を毎日行きサーブ・オーバー・アンダーを完璧にし、勝ち抜いて優勝する。(夏季総体に向け)かけ声でチームを盛り上げて試合で勝つ!

新報北部バレー女子生 徒感想 (抜粹)

●最後までお互い励まし合いながらプレーできた。●いつもよりサーブ

が入って良かった●一セットも取れそうが取れなかったことが悔しかった。次の大会では粘れるようになりたい。●練習試合のように二セットぐらいから疲れが出たので体力が必要だと感じた。●ミスできない場面でミスしてしまったので焦らずプレーできるようにしたい。

